

平成25年度 西東京市立谷戸小学校 学校自己評価表

<b>学校教育目標</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>元気で、粘り強い子</li> <li>進んで学び、行動する子</li> <li>心の豊かな子</li> </ul>															
<b>目指す学校像（ビジョン）</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>【目指す学校像】 子供が生き生きと活動し、教職員が生き甲斐をもって教育活動をし、保護者が信頼協力する幸せ追究の学校づくり</li> <li>【目指す児童像】 あたかも強く、体も強く、心も強い子</li> <li>【目指す教師像】 専門職としての誇りをもち、創意工夫に満ちた授業の充実へ努め、子供の心に灯をともしることのできる人間力ある教職員</li> </ul>															
<b>本校の実績と課題</b>		<p>①若手教員が多数おり、児童把握や授業技術など教員の授業力の向上に取り組む。</p> <p>②児童の瞬発力や握力の低下が顕著である。また、高学年の起床時間が7時を過ぎている。元気いっぱいカードのデータを集計して保護者ととも、健康教育や体力の向上に取り組む。</p> <p>③全学級に特別支援の必要な児童がいる。児童一人一人を大切にした指導について特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを交えて取り組む。</p> <p>④保護者・地域は大変協力的である。ホームページを通じて最新の情報を発信させる。</p>															
	<b>中期経営目標</b>	<b>短期経営目標</b>	<b>具体的方策</b>	<b>評価</b>													
				<b>努力指標(評価基準)</b>	<b>年間</b>	<b>成果指標(評価基準)</b>	<b>年間</b>	<b>分析コメント</b>	<b>改善策</b>								
学力の向上	基礎基本の定着とともに、分かる授業・質の高い授業の実現に努める。	基礎・基本の定着を図り、自ら学ぶ力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことや学習したことをまとめ、発表する場を全学級で設定する。</li> <li>・各自が年間目標以上の本を読めるようにする。</li> <li>・全員が各学年の漢字の読み書きができるようにする。</li> <li>・全員が各学年の計算を正確に行えるようにする。</li> </ul>	4 全学年全学級で実施	4	4 児童の達成度の評価A	4	全学級で、年間を通して取り組むことができた。授業だけでなく、朝会などでも発表の機会を設けることでより達成感があった。	今後も継続していく。								
				3 実施率80パーセント以上		3 児童の達成度の評価B											
				2 実施率60パーセント以上		2 児童の達成度の評価C											
				1 実施率60パーセント未満		1 児童の達成度の評価D											
				4 年間60冊以上	4	4 児童の自己評価で、達成度90%以上	4			全体として目標は達成できたが、個人差が大きかった。	「図書紹介カード」の工夫や推薦図書などの工夫を続けていく。						
				3 年間50冊以上		3 児童の自己評価で、達成度80%以上90%未満											
				2 年間40冊以上		2 児童の自己評価で、達成度70%以上80%未満											
				1 年間40冊未満		1 児童の自己評価で、達成度70%未満											
				4 教職員の取組評価がA	3	4 診断テストで、80%以上が90点以上	3					日常の宿題や学期末のテストの取組などで、定着を図っている。	毎日の積み重ねを基盤としてので、家庭にも協力を求める。また、漢字を使用して文章を書くなど、日常でも意識させる。				
				3 教職員の取組評価がB		3 診断テストで、70%～79%が90点以上											
				2 教職員の取組評価がC		2 診断テストで、60%～69%が90点以上											
				1 教職員の取組評価がD		1 診断テストで、60%未満が90点以上											
4 教職員の取組評価がA	4	4 診断テストで、80%以上が90点以上	3	基本的な計算は、毎日の学習の中で積み重ねている。	「出来た」「解けた」という思いを大切に、達成できただけには、褒めることを継続して行う。基礎的な内容にも繰り返し取り組ませる。												
3 教職員の取組評価がB		3 診断テストで、70%～79%が90点以上															
2 教職員の取組評価がC		2 診断テストで、60%～69%が90点以上															
1 教職員の取組評価がD		1 診断テストで、60%未満が90点以上															
体力の向上	丈夫な体とたくましい心を育てる。	健康教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常からのあいさつや言葉遣いを継続的に指導し、豊かな人間関係を作る。</li> <li>・生活振り返り週間を年7回設定し、児童の起床時間を7時前にするなど生活習慣の改善を図る。</li> <li>・食育の年間指導計画をもとに、各学年に応じた食育指導を推進する。</li> </ul>			4 教職員の取組評価がA	4	4 児童の達成度の評価A	3	高学年になると、あいさつをする事に気恥かしさが出るのか、声が出ない児童もいる。反面あいさつ運動には積極的に取り組んでいる。	生活の基本であるあいさつをきちんと習慣づける。また、言葉づかいについては、場面や相手の事を考えた言葉でできるよう指導を継続していく。						
						3 教職員の取組評価がB		3 児童の達成度の評価B									
						2 教職員の取組評価がC		2 児童の達成度の評価C									
						1 教職員の取組評価がD		1 児童の達成度の評価D									
						4 全学年全学級で実施	4	4 児童の達成度の評価A	3			生活振り返り週間を行うことで、児童自身が自分の生活を振り返る事ができた。	朝7時までの起床、朝ごはんを食べた後登校するという基本を指導し続けていく。日頃から生活のリズムを整える意識をもたせる。				
						3 実施率80パーセント以上		3 児童の達成度の評価B									
						2 実施率60パーセント以上		2 児童の達成度の評価C									
						1 実施率60パーセント未満		1 児童の達成度の評価D									
				4 教職員の取組評価がA	4	4 保護者・児童の満足度の評価A	3	校内放送による給食食材の案内や、ランチルームでの食育授業などの成果がでてきている。	家庭でも食の大切さを考えさせ、親子そろって食事をする時間を大切にしよう保護者にも働きかける。								
				3 教職員の取組評価がB		3 保護者・児童の満足度の評価B											
				2 教職員の取組評価がC		2 保護者・児童の満足度の評価C											
				1 教職員の取組評価がD		1 保護者・児童の満足度の評価D											
4 教職員の取組評価がA	4	4 児童の自己評価で、達成度90%以上	4	友達と協力して行うチーム競技などを通して、仲間と体を動かす楽しさを味わわせることができた。	芝生の養生などで校庭が使えない場合の運動量の確保の方法を考える。												
3 教職員の取組評価がB		3 児童の自己評価で、達成度80%以上90%未満															
2 教職員の取組評価がC		2 児童の自己評価で、達成度70%以上80%未満															
1 教職員の取組評価がD		1 児童の自己評価で、達成度70%未満															
4 教職員の取組評価がA	4	4 児童の自己評価で、達成度90%以上	4			ジャンプアップの取組は効果的であった。体力テストの結果にも表れている。	引き続き外遊びを励行し、歩くことでの体力アップを図る。										
3 教職員の取組評価がB		3 児童の自己評価で、達成度80%以上90%未満															
2 教職員の取組評価がC		2 児童の自己評価で、達成度70%以上80%未満															
1 教職員の取組評価がD		1 児童の自己評価で、達成度70%未満															
特別支援教育	一人一人を大切に、特別支援教育を推進する。	特別支援教育の充実を努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導計画・個別支援計画をもとに、児童一人一人を大切に教育支援を進める。</li> </ul>					4 教職員の取組評価がA	4	4 保護者・児童の満足度の評価A	4	年間を通して支援学校から交流学習を受け入れ、教員による理解啓発授業などを行った。	子供一人一人のニーズに合った教育を今後も考えていく。				
								3 教職員の取組評価がB		3 保護者・児童の満足度の評価B							
								2 教職員の取組評価がC		2 保護者・児童の満足度の評価C							
								1 教職員の取組評価がD		1 保護者・児童の満足度の評価D							
				地域との連携	地域に開かれた学校づくりを行う。			安心・安全な学校づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成会・保護者・学校が分担してパトロールを行い、日常的に児童の安全を見守る環境を整える。</li> <li>・学校が地域行事に関わり、積極的に参画する。</li> </ul>	4 教職員の取組評価がA	4			4 保護者・地域の方の満足度の評価A	4	地域と学校、保護者が連携しながら地域安全を行うことができた。	現在の連携を維持しながら、地域の情報を交換し、子供たちの安全を見守っていく。
										3 教職員の取組評価がB				3 保護者・地域の方の満足度の評価B			
										2 教職員の取組評価がC				2 保護者・地域の方の満足度の評価C			
										1 教職員の取組評価がD				1 保護者・地域の方の満足度の評価D			
						4 教職員の取組評価がA	4			4 保護者・地域の方の満足度の評価A	4			地域行事に学校教職員の積極的な参加があり、相互交流がすすめられた。	今後も継続していく。		
						3 教職員の取組評価がB				3 保護者・地域の方の満足度の評価B							
						2 教職員の取組評価がC				2 保護者・地域の方の満足度の評価C							
						1 教職員の取組評価がD				1 保護者・地域の方の満足度の評価D							
最新の情報提供	最新の学校教育情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校メール・学校ホームページによる最新情報の発信及び、学校・学年・学級・専科・研究から通信を定期に発行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校メール・学校ホームページによる最新情報の発信及び、学校・学年・学級・専科・研究から通信を定期に発行する。</li> </ul>			4 教職員の取組評価がA	3			4 保護者の満足度の評価A	3	基本的な情報提供は充実しているが、発信のタイミングや方法などは検討が必要である。	メールやインターネットの情報に頼りすぎないように、いろいろな媒体からの発信を行う。				
						3 教職員の取組評価がB				3 保護者の満足度の評価B							
						2 教職員の取組評価がC				2 保護者の満足度の評価C							
						1 教職員の取組評価がD				1 保護者の満足度の評価D							